

B講座 北方史の中で秋田を考える 定員120名程度

ふるさと秋田と北方社会との関わりを考えながら、広い視野で郷土史をとらえ、北からの日本史を学ぶ講座です。

B-1	8月 3日(土)	13:30～15:00	奥州藤原氏と北奥羽世界 ～北方の地に根差したアイデンティティ～	弘前大学教育学部 教授 齊藤利男氏
B-2	8月24日(土)	13:30～15:00	藩境を越える人々 ～移動する人々・受け容れる人々～	筑波大学 教授 浪川健治氏
B-3	9月 7日(土)	13:30～15:00	近世東北の飢饉 ～秋田藩を中心に～	宮城学院女子大学 教授 菊池勇夫氏
B-4	9月14日(土)	13:30～15:00	蝦夷錦の来た道 ～北のシルクロード～	青森県立青森東高等学校 校長 瀧本壽史氏
B-5	10月 5日(土)	13:30～15:00	近世の蝦夷地と秋田 ～異域へ渡る秋田人～	前秋田県生涯学習センター所長 金森正也氏
B-6	11月 2日(土)	13:30～15:00	藩境論争と領民 ～藩境絵図の検討を通して～	青森県史編さん近世部会 専門委員 本田伸氏
B-7	11月16日(土)	13:30～15:00	秋田藩政と奥向 <small>おくむき</small> ～女性の視点から江戸時代をみる～	東北学院大学文学部歴史学科 教授 菊池慶子氏
B-8	11月30日(土)	13:30～15:00	戊辰戦争を見直す	秋田近代史研究会 菊池保男氏

「北からの日本史」をテーマに全8回で構成し、大変多くの方々に受講していただいた講座です。ここでは、第1回の講座の様子について、報告します。

第1回は弘前大学の齊藤利男教授を講師に迎え、「奥州藤原氏と北奥羽世界～北方の地に根ざしたアイデンティティ～」と題して行われ、140名を超える受講者が熱心に聞き入っていました。

その中で齊藤教授は、世界文化遺産に登録された平泉を舞台に、日本の中の奥州平泉という立場ではなく、「半独立国家」としての奥州藤原氏の盛衰について豊富な資料をもとに説明されました。

受講者からは「奥州平泉の北奥羽の国づくりの偉大な考えに感動しました」「奥州藤原氏への考え方が変わった」といった感想が寄せられました。



140名を超える受講者が集まった第1回の講座



奥州藤原氏について説明する弘前大学の齊藤教授